

チョウジコメツツジ	<i>Rhododendron tschonoskii</i> Maxim. var. <i>tetramerum</i> (Makino) Komatsu	絶滅危惧Ⅱ類
		ツツジ科
選定理由	生育地と個体数がとも非常に少ない。	写真(高橋弘)
形態の特徴	半落葉性の低木。高さ0.5-1m。春葉は楕円形、長さ1-2.5cm、夏葉は長楕円形から倒披針形、長さ5-8mm、葉脈は羽状で主脈以外は細い。花は枝先につき、花柄は長さ2-3mm、花冠は筒型で筒部は細長く、先は4-5裂するが筒部より短くてあまり開出ししない。	
生態的特徴	山地帯から亜高山帯の岩場に生育する。花期は6-7月。	
分布状況	日本に固有で、本州の中部地方に分布する。岐阜県では東部に見られる。	
減少要因	開発による生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘